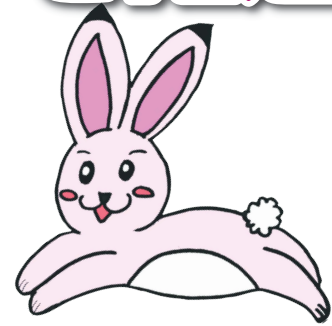


農地を活かし、“持続可能な農業・農村づくり”を推進

農業委員・農地利用最適化推進委員の活動を紹介します！



茶園森福(和束町)の森崎優さんに兔のイラストを描いていただきました。ありがとうございます。



京 都

京都府支局 京都府農業会議

京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 府庁西別館内 075-441-3660



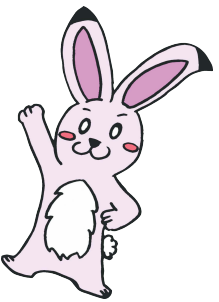
A-HITクラブ代表を務める小原会長

伊根町農業委員会
伊根町全体で将来の農業と農村振興について協議するため、昨年4月、A-HITクラブが設立された。農業委員会の小原澄晴会長が代表を務め、町内の4地域(A朝、1次産業、2次・3次産

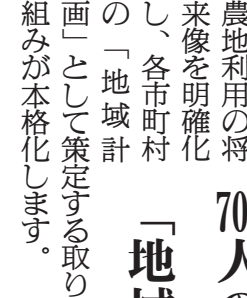
丹後 A-HITクラブ設立、ワークショップで未来を描く

小原澄晴 会長

を話し合い、特産化が期待できる高収益作物や土地利用型力作物として「何を売りたいか」「誰が作るか」などを話し合ってきた。持続可能な未来を描くため、海(漁村)から山(農村)に誘客する観光資源の創出、移住促進につながる空き家の活用、人が集まる日用品販売拠点の整備、在宅医と福祉タクシの充実など、地域の課題を解決するアイデアを出し合い、役場の農業委員会事務局職員が整理した。ワークショップで出たアイデアの



「地域計画」の策定を推進
の素案作成から計画の実現まで、農業委員・農地利用最適化推進委員が参画して推進することが期待されています。



「地域計画」の策定を推進
の素案作成から計画の実現まで、農業委員・農地利用最適化推進委員が参画して推進することが期待されています。

「地域計画」の策定を推進
の素案作成から計画の実現まで、農業委員・農地利用最適化推進委員が参画して推進することが期待されています。

「地域計画」の策定を推進
の素案作成から計画の実現まで、農業委員・農地利用最適化推進委員が参画して推進することが期待されています。

新年のごあいさつ

京都府農業会議会長 栗山正隆

新年あけましておめでとうございます。昨年の農業経営基盤強化促進法等の大改正に伴い、今年から、農業者の意向を反映した目標地図を策定する取組が今年から本格化する。担い手がいない地域が取り残されないように、農区長や行政と連携して地域計画の策定を推進したいと小瀧委員は抱負を語る。

700人の委員とともに

「地域計画」の策定を推進

「地域計画」の策定を推進
の素案作成から計画の実現まで、農業委員・農地利用最適化推進委員が参画して推進することが期待されています。

今年、府内の19市町村で農業委員と農地利用最適化推進委員の改選があり、年明けから次期委員の募集が行われます。そこで、委員のことを知っていただくため、丹後・中丹・南丹・山城の現場で地域農業の発展のために奮闘する委員を訪ね、これまでの活動と卯年の抱負を聞きました。

福知山市農業委員会 小瀧勲 委員



地域の担い手としてもがんばる小瀧委員

福知山市西部の上川口地区は、典型的な中山間地域で、現在の農地面積は約200人だが、その6割が70歳以上で「5年後には農業を縮小か廃業する人が増える」と懸念されていた。小瀧委員は、上川口地区営農推進協議会(地区)の会長として、11集落の農区長に呼びかけ、

中丹 上川口地区(11集落)で京力農場プランを一本化

亀岡市農業委員会 中澤賢一 委員 中川尊基 委員

「京力農場プラン」の一本化に取り組んだ。農家アンケートの結果を一人でもめた小瀧委員は「後継者が定まらな集落が多い中で、上川口全体で持続可能な農業体制の確立が必要」と地区推の会議で説明し、農区長全員の理解と協力を得たという。



「京力農場プラン」の一本化に取り組んだ。農家アンケートの結果を一人でもめた小瀧委員は「後継者が定まらな集落が多い中で、上川口全体で持続可能な農業体制の確立が必要」と地区推の会議で説明し、農区長全員の理解と協力を得たという。

南丹 馬路町(6集落)で「まるっと方式」の新集落営農へ

馬路町(6集落)では、圃場整備が完了した180畝の耕地で水稲、馬路大納言小豆などが栽培されている。地域農業の将来に危機感を持った馬路町自治会の声かけで、2年半前から「新集落営農組織」の設立に向けた検討委員会を19回、農家との意見交換を20回重ねてきた。

「京力農場プラン」の一本化に取り組んだ。農家アンケートの結果を一人でもめた小瀧委員は「後継者が定まらな集落が多い中で、上川口全体で持続可能な農業体制の確立が必要」と地区推の会議で説明し、農区長全員の理解と協力を得たという。

山城 新規就農者を応援 美しい農村風景を守る

「糠塚環境保全会」の会長として地域をリードする西山委員は、遊休農地でサツマイモや景観作物(百日草やコスモス)を栽培し、収穫祭を開いて都市住民と交流したり、美しい農村風景を守る活動を周囲に呼びかけ、集落全体で多面的機能支払交付金を活用した環境保全活動を推進している。

宇治田原町農業委員会

橋本茂 委員 西山隆一 委員



町内の新規就農者に利用権設定した農地を紹介する橋本委員(左)と西山委員

宇治田原町の糠塚地域では、2人の農業委員(橋本茂委員、西山隆一委員)が農地の有効利用に取り組み、成果をあげている。